

ア 小学校の統廃合について

(ア)統廃合の基本的な考え方

町内4小学校を1校とする統合を速やかに進め、学校の適正規模化を図り、基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力に加え、課題の発見・解決に向け主体的・協働的に学び、確かな学力を身に付けるための教育環境の提供を図ります。

(イ)統合時期等

平成32年4月から現小野新町小学校校舎を仮校舎として現4小学校を統合し、学校運営を行います。なお統合スタイルは4小学校対等とします。またこの仮校舎は、新たな校舎整備が完了するまで使用することとします。

(ウ)統廃合に際し配慮すべき事項について

a 学校運営について

学力向上カリキュラムの強化や体力向上の取り組み、ICT教育の充実や特別支援教育の充実も図り、すべての子どもたちが多くの選択と多様なチャレンジが可能となる機会の確保および拡大が図られるよう配慮します。

b 通学支援について

スクールバスなどの通学支援を行う一方で、徒歩時間の減少による体力の低下などにも配慮し、また放課後の児童の活動支援や居場所づくりの拡充を図ります。

c 環境変化に向けた児童への配慮について

児童の心情に十分に配慮し、統合前からの学校間の交流事業を充実させ、統合後の円滑な人間関係が築けるようにします。



d 地域への影響と郷土愛の醸成について

小学校の統合により児童と地域との関わりがなくならないよう、地域の伝統芸能の継承活動や発表の機会を設けるなど、学校と地域が連携・協働を図ります。

イ 中学校の教育環境について

(ア)学校運営について

確かな学力の定着を図るため、課外授業の充実や学力調査などの結果を効果的に活用し、生徒自身の学習意欲の向上を図ります。小中学校間で連携を図り、中1ギャップの緩和に努め、特別支援教育についても小学校から継続して十分な配慮が行えるよう環境整備の充実に努めます。

(イ)通学支援について

今後スクールバスの運行について全体的な見直しを図り、小学校同様、遠距離通学者に対するスクールバスの通学支援について検討を行います。

3 おわりに

将来を担う子どもたちに最良の教育環境を提供することを最重要課題とし、基本方針を改訂しました。今後も、時代に即した確かな学力と心豊かでたくましく生きる力を持った子どもたちの育成や、新たな学校運営のあり方も探りながら、学校・保護者・地域と連携し、計画的に教育環境の整備に取り組んでまいります。

